

令和6年

新年会開催

令和6年1月25日午後5時よりANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋「ザ・グランコート」において、令和6年（公社）愛知県宅地建物取引業協会の新年会が開催されました。



伊藤 亘 会長



大村 秀章 愛知県知事



佐藤 寿延
国土交通省国土交通省
中部地方整備局局長



河村 たかし 名古屋市長



成田 たかゆき
名古屋市長



鈴木 淳司
自民党愛知県連会長代理



水野 富夫
自民党愛知県議員団
土地問題対策議員連盟会長



藤田 和秀
自民党名古屋市議員団
土地問題対策懇話会会長

二村副会長による開会の辞に始まり、先日の能登半島地震の発生により甚大な被害、多数の尊い人命が犠牲となりましたので哀悼の意を表し黙祷を捧げ、伊藤亘会長による挨拶の後、来賓からごあいさつを頂きました。

まず、大村秀章愛知県知事より、「まずは元旦に発生いたしました能登半島地震につきまして申し上げます。午後4時10分に発生して愛知県は名古屋市他、県内市町と連携いたしまして緊急消防援助隊を元旦の夜には336人の消防隊員が午後8時には出発をして石川に向かいました。今日に至るまで2200人第8次隊まで活動しています。愛知県警察も500人近く出動して活動しております。災害時医療チームも64チーム送って活動して頂いております。

また高齢者で入院している方、介護施設に入所されている方を順次受け入れています。これまでに68人受け入れております。最初に来られた42人中35人は80歳から100歳代の方でした。インフラの復旧も大変ですし、今は愛知県、名古屋市他県内の行政の職員を送らせて頂いております、これから息の長い支援となるかと思っておりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

宅建協会の皆様には宅地建物取引業の適正な運営と公正な取引の確保、業界全体の健全な発展にご尽力いただいていることに心から敬意を表します。引き続きよろしくお願い申し上げます。

さて、愛知县的には去年コロナが5類になり社会経済活動をしっかり回していく役割を持っております。3月16日にはジブリパークが完成いたしました。フルオープンいたします。規模が2倍となります、ぜひお楽しみにして下さい。

トヨタに依頼いて猫バスも5台つくっております。

す。パーク内の森を走らせるアトラクションとなりますのでご期待頂ければと思います。

また豊田下山に11年建設工事をしておりました650万平米の世界最高のテストコースと研究開発棟が完成いたしました。更に付加価値が生まれてくることを大いに期待したいと思っております。

また今年10月には鶴舞にスタートアップ支援施設STATION Aiも開業します。今年も愛知もしっかり日本を支えていけるような元気のある1年にしていきたいと思っております。今年も辰年でございます。龍が天に昇っていくような勢いのある元気な1年になりますように」と祝辞を頂きました。

続いて、佐藤寿延国土交通省中部地方整備局局長より、「まずは能登半島地震において亡くなられた方のご冥福をお祈りいたしますと共に被災された方のお見舞いを申し上げます。また、一昨日はJR東日本で新幹線が止まるということと昨日はNEXCO中日本管内名神高速で雪のため長い時間滞留したということあわせまして、いろいろインフラ関係で皆様にはご迷惑をおかけしたということでお詫び申し上げます。今回の地震におきましては中部地方の役割としまして物資と人を送り込むということに注力してまいりました。特に物資につきましては新潟にも北陸地方整備局はありますが新潟より名古屋の方が早いということで発生翌日、翌々日にはペットボトル5万本、ブルーシート1万枚くらい送っております。職員も1日50~60名派遣し、職員の2%が能登半島にいるという状況でございます。引き続き被災地の支援に取り組んでいきたいと思っておりますが、今までは調査要員だとか現場支援要員を送っていましたが来週からは復旧の計画を作る要員を送ることになりますのでだいぶ局面も変わってきたかと思っております。協会の方々には直接的な

支援ということは少ないと思いますが、この地域に人が移って来たりですとかご支援いただくことがあるかと思っております。よろしく願いいたします。

私はこの名古屋に初めて半年ほど住まわせてもらいました。正直に言うと非常に住みやすい街だなあと感じております。数字をいろいろ調べています。都心から10キロ圏内に住んでいる人の家は59平米、名古屋から10キロ圏内ですと79平米です。だいたい都心に比べると愛知県に住んでいる人は3割大きい家に住んでいる相場観です。家賃は半額ということで住みやすい街だと、この住みやすいところにもっと人口が増えてもいいのではないかと感じております。

仕事の仕方が変わってくる中で離れても仕事ができる環境が整いつつあります。ステーションアイが始まりますと住みやすいとことに集まる傾向がありますのでそういう特色を不動産の方からも売り込んでいただくとこの地域ますます発展していくのではないかと思います。

令和6年度税制につきましては住宅ローンの減税措置の延長及び土地にかかわる固定資産税負担調整措置の延長など皆様からのご要望いただきまして一定の成果を勝ち取ったと思っております。また昨年12月に空き家法の改正、空き家の活用推進区域という制度が新たに始まります。空き家問題は我が国抱えている大きなテーマです、官民連携で取り組んでいきたいと思っておりますので皆様のご支援を承りたいと思っております。ぜひこの名古屋の不動産業界を活性化して頂いて愛知県に住んで頂けるように取り組んでいきたいと思っております。そのためのインフラ整備にも取り組んでいきたいと思っております。」と祝辞を頂きました。

続いて、河村たかし名古屋市長より「名古屋市は

東北の震災の時は陸前高田市の行政が機能しなくなってしまったので行政そのものを支援していくということで今も一人ですが続けております。今は七尾市を応援しています。

宅建協会の皆様には災害、福祉の際は住宅確保などご協力いただきありがとうございます。名古屋市政は正しく行っております。税収の伸びは大阪と名古屋で競っておりますが、減税がありますから名古屋の経済は日本一です。減税だけではないですが、固定資産税もありますから名古屋の経済の伸びは日本一です。

応援致しますのでまちづくりでは地元のことをよく知っている皆様から是非ご提案をお待ちしております。よろしく願いいたします。」と祝辞を頂きました。

続いて、成田たかゆき名古屋市長、鈴木淳司自民党愛知県連会長代理、水野富夫自民党愛知県議員団土地問題対策議員連盟会長、藤田和秀自民党名古屋市議員団土地問題対策懇話会会長より祝辞を頂きました。

その他、多くのご来賓にも出席頂き新年を祝い、光岡新吾副会長の一丁締め、中林正人副会長の閉会の辞を経て盛況のうちに終了しました。

